東海大諏訪V

女子は9連覇

主力欠場 連係しカバー

○…バスケットボール女子の東海大諏訪は、3年生ガードら一部の主力が故障で欠場。神沢監督は「守備力が下がり、（全国高校総体出場に向け）ここ数年ないくらいの危機感をチームで持っていた」と明かした。

それでも控えを含めた他の選手が穴を埋め、大差で9連覇を達成。神沢監督は「（中心選手の主将）御子柴が存在感を発揮して思いきってやってくれた」と評価。さらに昨年の全国中学大会を制した埼玉・豊野中の主将だった1年生の山下が、動じずに広い視野と連係力を発揮して貢献した。

御子柴は「前線から相手を追いかける守備ができた。全国大会でも、うちは小さいチームなので、その守備を徹底したい」と気を引き締めた。

東海大諏訪―松商学園　第1クオーター、ゴール下からシュートを放つ東海大諏訪の張

は9連覇の女子と同じ。決勝でもサインプレーを封印しつつ、圧倒的な地力の差を見せつけた。

決勝の第1クオーター、ゴール下から決めの張がゴール下から決め、手堅く先行。第2Qは持ち味の堅守で相手の勢いを止めると、父が米国人の米山や高原のダンク要との認識を示した。

先発の多くが昨年のチームでも主力を担っていたため、入野監督は「年末のウインターカップにしている。泥くさくこぼれ球、リバウンドを大事にする東海大諏訪の伝統を見せたい」と話した。

（松井　哲明）